

## 授業科目

## 生理学実習 I

【担当教員名】 宮岡 洋三、川上 心也	対象学年	1	対象学科	理学 (前半)・作業
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

## 【概要】

本科目では、「感覚機能、運動機能、心臓・循環機能、呼吸機能、消化機能」について実験的に学ぶ。基礎資料（教科書と生理学サイト、下記）からの情報収集、自分自身や友達を対象とした実験、そして採取したデータの適切な取りまとめを通して生体機能の理解を深める。

## 【学習目標】

1. 本学の「生理学サイト(<http://www.nuhw.ac.jp/~physiol/>)」にアクセスし、実習資料入手できる
2. 入手した実習資料を基に、実習遂行に必要な知識を整理できる（必要に応じて、図書館などで参考図書に当たり、資料を適宜加工できる）
3. 実習に参加して、学習項目に関する有効なデータを採取できる
4. 採取したデータを基に実験結果をまとめ、その生理学的な意味を考察できる
5. まとめたデータへの検討を通して、自分や友達の結果・考察に対してコメントできる

回数	授業計画・学習の主題				SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	実習ガイダンス					実習、担当：宮岡 洋三 他
2	実習ガイダンス					実習、担当：宮岡 洋三 他
3	実習ガイダンス					実習、担当：宮岡 洋三 他
4	体性感覚：表面感覚	皮膚感覚点の検索	体性感覚：深部感覚	重量弁別の実験		実習、担当：宮岡 洋三 他
5	体性感覚：表面感覚	皮膚感覚点の検索	体性感覚：深部感覚	重量弁別の実験		実習、担当：宮岡 洋三 他
6	体性感覚：表面感覚	皮膚感覚点の検索	体性感覚：深部感覚	重量弁別の実験		実習、担当：宮岡 洋三 他
7	体性感覚：表面感覚	二点弁別閾値の測定		呼吸機能：肺活量・1秒率の測定		実習、担当：宮岡 洋三 他
8	体性感覚：表面感覚	二点弁別閾値の測定		呼吸機能：肺活量・1秒率の測定		実習、担当：宮岡 洋三 他
9	体性感覚：表面感覚	二点弁別閾値の測定		呼吸機能：肺活量・1秒率の測定		実習、担当：宮岡 洋三 他
10	循環機能：血圧の測定	循環機能：心電図(ECG)の記録・解析				実習、担当：宮岡 洋三 他
11	循環機能：血圧の測定	循環機能：心電図(ECG)の記録・解析				実習、担当：宮岡 洋三 他
12	循環機能：血圧の測定	循環機能：心電図(ECG)の記録・解析				実習、担当：宮岡 洋三 他
13	運動機能：表面筋電図(EMG)の記録	消化機能：唾液分泌量の測定				実習、担当：宮岡 洋三 他
14	運動機能：表面筋電図(EMG)の記録	消化機能：唾液分泌量の測定				実習、担当：宮岡 洋三 他
15	運動機能：表面筋電図(EMG)の記録	消化機能：唾液分泌量の測定				実習、担当：宮岡 洋三 他

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 (必ず購入する書籍)	生理学テキスト（第5版）	大地 陸男	文光堂	2008・4,800円+税
参考書				
その他の資料	「生理学サイト」( <a href="http://www.nuhw.ac.jp/~physiol/">http://www.nuhw.ac.jp/~physiol/</a> )			

【評価方法】	【履修上の留意点】
成績は「出席：約30%」、「課題レポート：約40%」ならびに「期末試験：約30%」の合計点で評価する。	実習室ならびに実習用具の制約から、上記の「授業計画」にある項目順序が変更になる場合もあるので、予め承知しておいて欲しい。 なお、客観性と公平性の確保が困難な「実習態度」は評価の対象としないが、明らかに他人の迷惑となっている場合には、退室を求めることがある。